



6月の一斉クリーンアップの様子

(特非) ワールドオーシャンズデイ

アマモ場育成を通じた 地域連携ネットワークの構築 (鎌倉・腰越漁港)

つり環境ビジョン
助成
2年目
実践

継続的なモニタリング
活動の実施回数 **5回**

活動に参加した
ボランティアの数 **334人**

活動の全体目標に
対する達成度 **70%**

課題

老朽化などにより2007年から進められてきた鎌倉市の腰越漁港の改修整備終了後、わずかに残されたアマモの保全と再生活動の実施。

目標

活動対象地域において、アマモ場の育成・保全に向けた取組みが多岐にわたり発展すること。特に、環境教育の一環で、アマモを通じて地域の海について学ぶ機会を提供し、環境への意識啓発へ繋がることを目標とした。

活動内容

- ①アマモ場生育環境の継続的なモニタリング活動
- ②アマモ場保全のための勉強会の開催とコーディネーターの育成
- ③環境教育プログラム(普及啓発)を、年に2回実施
- ④上記を支える協働ネットワークの構築



アマモモニタリングの様子

達成できなかったこと

- ダイビング経験のある方が中心のモニタリングになり、それ以外の登録ボランティアの活用ができなかった。
- 海洋状況の変化や波の強さの影響により、アマモが流された。

今後の展望

- アマモが流されないように、植栽方法を工夫する。
- 地域の取組みとして活動する。

成果と工夫したポイント



成果

- ・モニタリングによりアマモの定着が確認された。
- ・6月のクリーンアップイベントには、合計294名が参加し、燃えるゴミ23袋、燃えないゴミ38袋の合計61袋(約3トン)を回収した。

工夫

- ・地域の情報誌などにイベントの情報を掲載した。
- ・活動のウェブサイトを制作し、一般の方々への普及を図った。